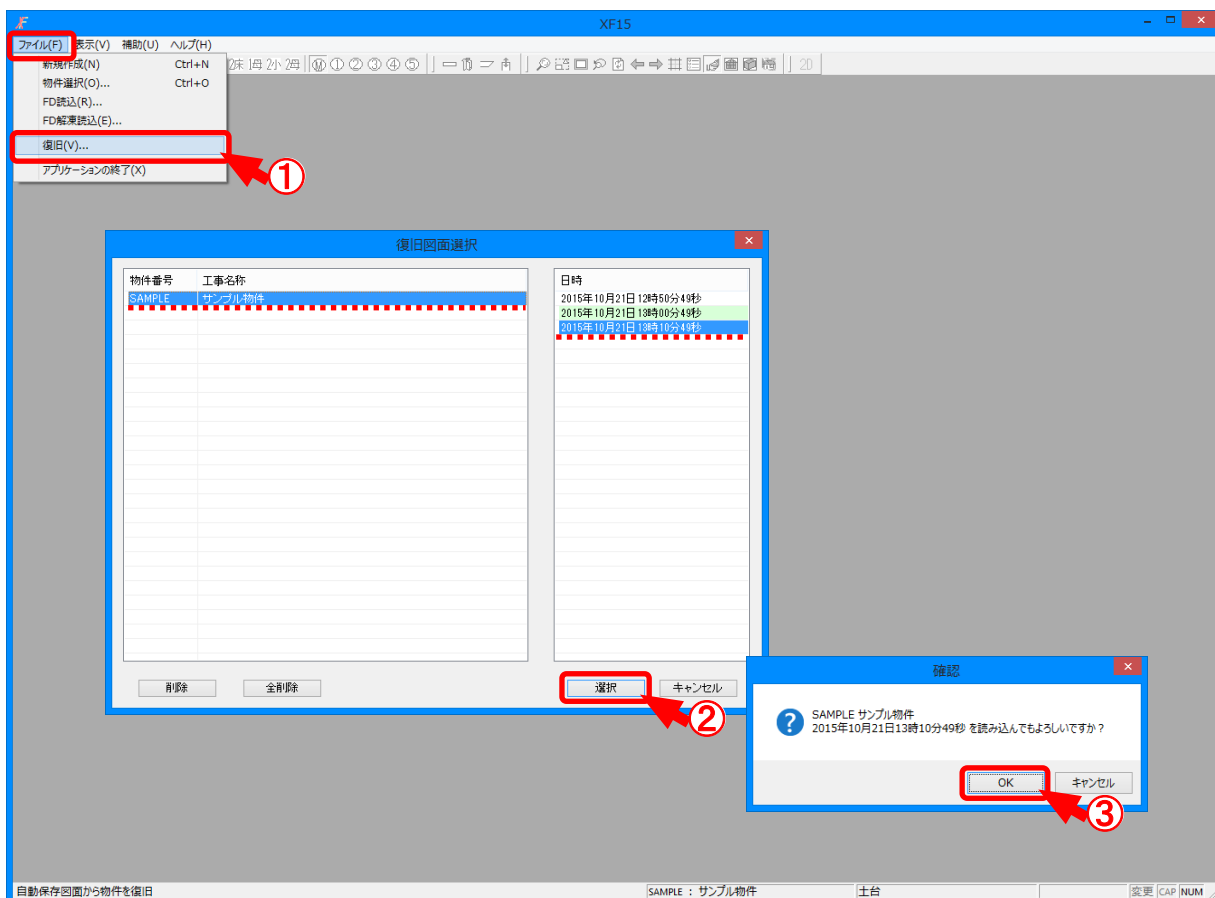


ファイルー復旧



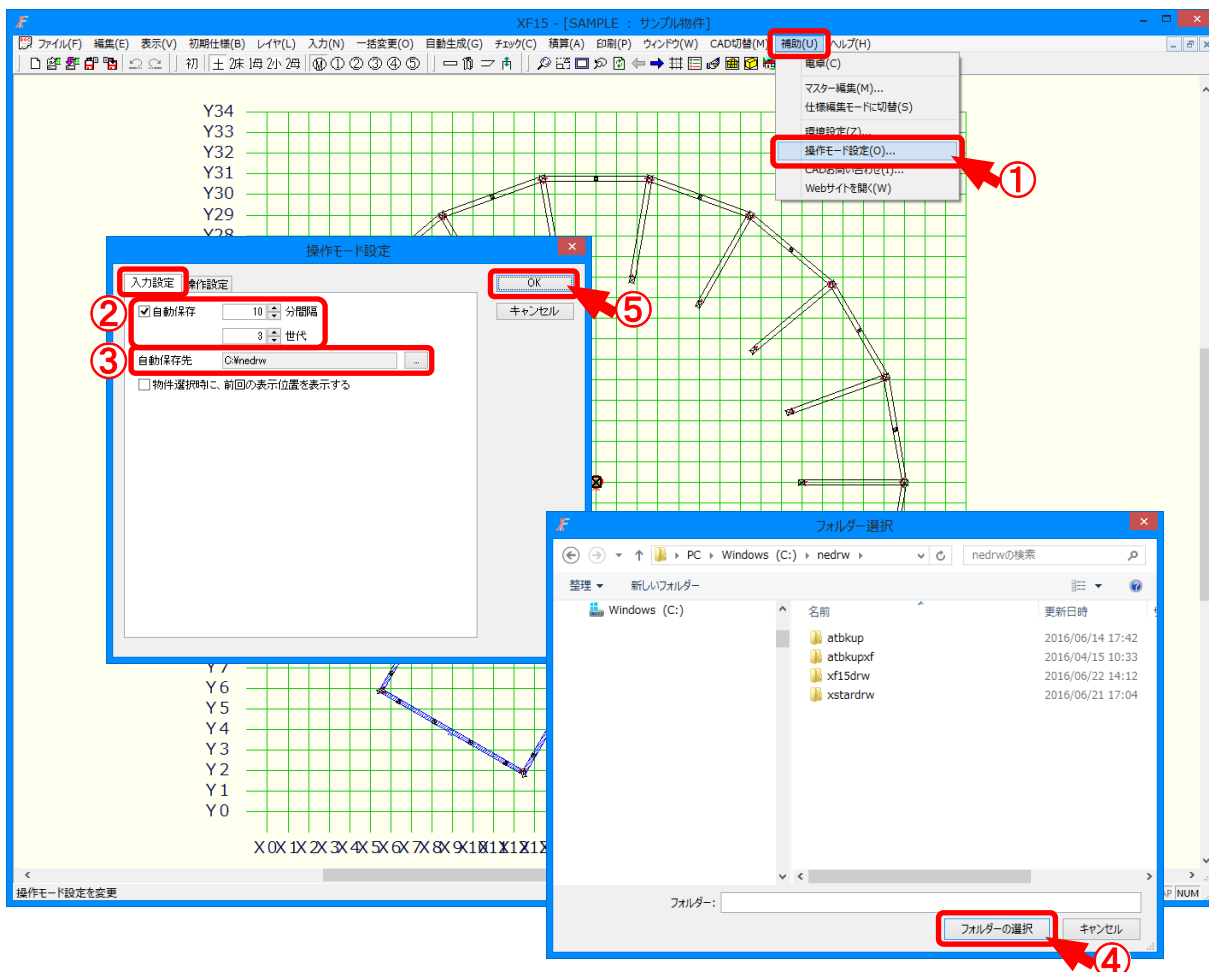
復旧では、物件データを自動保存した日時まで復旧することができます。

- ① 〔ファイルー復旧〕を選択します。
- ② 「復旧画面選択」の画面が表示されます。
物件番号／工事名称を選択後、日時から保存された時間を選択します。
「選択」をクリックします。
- ③ 「確認」の画面が表示されます。「OK」をクリックします。
選択した日時の時間まで、データが復旧されます。




〔補助ー操作モード設定〕の「自動保存」にチェックをつけている場合に、設定した時間間隔で物件データが自動保存されます。

補助—操作モード設定—入力設定／自動保存



入力設定／自動保存では、自動バックアップの時間と回数、保存先を設定します。

- ① 「補助—操作モード設定」をクリックします。
- ② 「操作モード設定」の画面が表示されますので、「入力設定」をクリックします。
「自動保存」にチェックをつけ、自動バックアップの間隔と回数を設定します。
※ バックアップの回数を超えると、古いデータから消去されます。
※ 自動保存では1～30分間隔、3～10世代の間から設定できます。
- ③ 自動バックアップの保存先を変更する場合は、「自動保存先」で  をクリックします。
- ④ 「フォルダー選択」の画面が表示されます。
自動保存先を指定し、「フォルダーの選択」をクリックします。
ネットワーク上や外付けのハードディスクが選択できます。
- ⑤ 設定後、「OK」をクリックします。